平成 24 年度
知床世界自然遺産地域における
情報提供及び資料収集業務
報告書

平成 25 年 3 月

環 境 省 釧 路 自 然 環 境 事 務 所
特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所

目　次

第１章　　業務概要 2
1-1　業務目的 2
1-2　業務内容 2
（１）　ホームページの維持管理 2
（２）　メーリングリストの管理 2
1-3　打ち合わせ等 2
1-4　履行期限 3
1-5　成果品 3
第２章　　業務内容 4
2-1　ホームページの維持管理 4
（１）　会議資料の更新追加 5
（２）　調査研究資料の更新追加 7
（３）　啓発資料・ホームページの更新追加 12
2-2　メーリングリストの管理 15
（１）　各委員会のメンバー更新 15

第１章　業務概要

1-1 業務目的

平成 17 年 7 月に知床が世界自然遺産として登録された。知床では、「知床世界自然遺産地域科学委員会」での科学的な立場からの検討や陸海域での様々な調査等が実施されている。こうした様々な取り組みによって得られた知見や研究成果等に加え、資料や文献等既存の様々な科学的・人文的資料の中から、知床が有する世界的に顕著な普遍的価値の保全と適正な利用を図るために科学委員会委員、研究者、関係行政機関等で広く共有するべき資料や文献、研究成果等を管理・提供するため、平成 18 年度より、知床データセンターが運用されている。

本業務は、知床データセンター及びメーリングリストの維持管理を行うものである。

1-2 業務内容

（１）ホームページの維持管理

平成 17～23 年度に作成した知床データセンターのサーバを維持するとともに、会議資料や報告書の知床データセンターへの掲載など必要な更新、修正作業を行う。主な更新作業としては報道資料の掲載を 10 回程度、会議資料の掲載を 30 回程度、報告書の掲載を 20 回程度想定している。ホームページは現在のドメインを継続するとともに、掲載されている情報の閲覧及び想定される更新作業等を円滑に行うために、十分な容量等を有するサーバを使用すること。

（２）メーリングリストの管理

知床世界自然遺産科学委員会及び各ワーキンググループ、アドバイザー会議等のメーリングリスト（計 7 つのメーリングリスト）のメンバー追加・削除（大幅はメンバー入れ替えは 4 月と 10 月の 2 回）、システムトラブルの対応等の運営を行う。

1-3 打ち合わせ等

本業務を適正かつ円滑に実施するため、管理技術者と環境省担当官は常に密接な連絡をとり、業務の方針及び条件等の疑義を正すものとする。

1-4　履行期限

契約締結日よりより平成25年3月29日まで

1-5　成果品

報告書（A4版 10頁程度）…… 5部

報告書の電子データを格納した電子媒体（DVD-R）…… 3式

第２章　業務内容

2-1　ホームページの維持管理

科学委員会、ワーキンググループおよび利用適正化検討会議の平成 24 年度分の会議資料（会議次第、各種資料、および議事録）の追加更新を行った。また、報道機関への発表資料、各種の啓発資料、報告書やモニタリング関連データ資料などの追加更新も行った。その他に、新規ページの作成等も行った。追加更新を行った際は、その内容をデータセンターのお知らせ一覧（図 2-1）に随時掲載していった。更新追加およびそれに付随するホームページの維持管理作業を 92 回行った。

図 2-1　データセンターのお知らせ一覧ページ

（１）会議資料の更新追加

追加更新した会議資料は以下のとおり。表 2-1 には収録した各資料の一覧を示した。各資料を掲載したページ（一部）を図 2-2 に示した。

表 2-1　資料を収録した会議一覧

名称	会議名	開催日
科学委員会	平成 24 年度第 1 回	2012 年　7 月24 日
	平成 24 年度第 2 回	2013 年　2 月23 日
エゾシカ・陸域生態系 WG	平成 24 年度第 1 回	2012 年　6 月23 日
	平成 24 年度第 2 回	2012 年 10 月25 日
河川工作物 AP	平成 23 年度第 2 回	2011 年　6 月23 日
	平成 23 年度第 3 回	2012 年　1 月27 日
	平成 24 年度第 1 回	2012 年 10 月24 日
	平成 24 年度第 2 回	2013 年　1 月31 日
海域 WG	平成 24 年度第 1 回	2012 年　7 月23 日
地域連絡会議	平成 24 年度第 1 回	2012 年　8 月　8 日
適正利用・エコツーリズム検討会議	平成 24 年度第 1 回	2012 年 10 月25 日
	平成 24 年度第 2 回	2013 年　3 月　1 日
知床五湖の利用のあり方協議会	第 27 回	2012 年 12 月19 日
	第 28 回	2013 年　1 月28 日
講演会	平成 23 年度 第 3 回しれとこ科学教室	2011 年 10 月15 日
	平成 24 年度 第 2 回しれとこ科学教室	2012 年 12 月　8 日
知床国立公園　管理計画検討会	平成 24 年度第 1 回	2012 年　6 月　7 日
	平成 24 年度第 2 回	2012 年 12 月　7 日
羅臼湖部会	平成 24 年度第 1 回	2012 年　7 月　4 日
	平成 24 年度第 2 回	2012 年 12 月　5 日
知床連山二ッ池のルート変更に関する懇談会	第 1 回	2012 年　8 月30 日

図 2-2 会議資料掲載ページ(科学委員会)

（２）調査研究資料の更新追加

追加更新した調査研究資料（報告書・年次報告書）は以下のとおり。表 2-2 には収録した報告書資料の一覧を示した。報告書資料を掲載したページを図 2-3 に、年次報告書資料を掲載したページを図 2-4 にそれぞれ示した。

表 2-2 収録した報告書資料一覧 1/3

番号	年度	調査･業務名	概要	調査･業務年	発注者
1	H15	知床における森林生態系保全･再生対策事業（広域調査）	エゾシカの増加に伴い、知床の原生的な森林生態系に影響が現れていることから、多数の固定調査プロットを設け植生調査を行い、エゾシカの保護･管理に役立てています。	2003年	北海道森林管理局
2	H16	知床における森林生態系保全･再生対策事業（広域調査）	エゾシカの増加に伴い、知床の原生的な森林生態系に影響が現れていることから、多数の固定調査プロットを設け植生調査を行い、エゾシカの保護･管理に役立てています。	2004年	北海道森林管理局
3	H17	知床における森林生態系保全･再生対策事業（広域調査）	知床世界自然遺産地域内及びその下流で、北海道森林管理局が河川工作物を設置している8河川のうち、3河川について河川工作物を加えた場合の防災面、環境面等への影響について評価を行いました。	2005年	北海道森林管理局
4	H17	世界遺産保全緊急対策事業（河川工作物影響評価）	知床世界自然遺産地域内及びその下流で、北海道森林管理局が河川工作物を設置している8河川のうち、3河川について河川工作物を加えた場合の防災面、環境面等への影響について評価を行いました。	2005年	北海道森林管理局
5	H18	知床における森林生態系保全･再生対策事業（広域調査）	エゾシカの増加に伴い、知床の原生的な森林生態系に影響が現れていることから、多数の固定調査プロットを設け植生調査を行い、エゾシカの保護･管理に役立てています。	2006年	北海道森林管理局
5	H18	世界遺産保全緊急対策事業（河川工作物影響評価）	知床世界自然遺産地域内及びその下流で、北海道森林管理局が河川工作物を設置している8河川のうち、4河川について河川工作物を加えた場合の防災面、環境面等への影響について評価を行いました。	2006年	北海道森林管理局
6	H19	知床における森林生態系保全･再生対策事業（広域調査）	エゾシカの増加に伴い、知床の原生的な森林生態系に影響が現れていることから、多数の固定調査プロットを設け植生調査を行い、エゾシカの保護･管理に役立てています。	2007年	北海道森林管理局
7	H19	世界遺産保全緊急対策事業（河川工作物影響評価）	知床世界自然遺産地域内及びその下流で、北海道森林管理局が河川工作物を設置している8河川のうち、1河川について河川工作物を加えた場合の防災面、環境面等への影響について評価を行いました。また、平成18年度に改良した河川工作物の改良効果の検証を行いました。	2007年	北海道森林管理局
8	H20	世界遺産保全緊急対策事業（河川工作物改良の効果検証）	平成18年度～平成20年度に河川工作物の改良を行ったイワウベツ川流域において、サケ科魚類の遡上･産卵状況などを調査し、産卵環境の改善を確認しています。	2008年	北海道森林管理局
9	H20	世界遺産保全緊急対策事業（植生調査））	エゾシカの増加に伴い、知床の原生的な森林生態系に影響が現れていることから、多数の固定調査プロットを設け植生調査を行い、エゾシカの保護･管理に役立てています。	2008年	北海道森林管理局
10	H21	知床半島における森林生態系保全･再生対策事業（広域調査）	エゾシカの増加に伴い、知床の原生的な森林生態系に影響が現れていることから、多数の固定調査プロットを設け植生調査を行い、エゾシカの保護･管理に役立てています。	2009年	北海道森林管理局
11	H21	世界遺産保全緊急対策事業（河川工作物改良の効果検証	平成18年度～平成22年度に河川工作物の改良を行ったイワウベツ川流域において、サケ科魚類の遡上･産卵状況などを調査し、産卵環境の改善を確認しています。	2009年	北海道森林管理局
12	H22	世界遺産保全緊急対策事業（河川工作物改良の効果検証）	平成18年度～平成22年度に河川工作物の改良を行ったイワウベツ川流域において、サケ科魚類の遡上･産卵状況などを調査し、産卵環境の改善を確認しています。	2010年	北海道森林管理局
13	H22	知床半島における森林生態系保全･再生対策事業（広域調査）	エゾシカの増加に伴い、知床の原生的な森林生態系に影響が現れていることから、多数の固定調査プロットを設け植生調査を行い、エゾシカの保護･管理に役立てています。	2010年	北海道森林管理局
14	H23	知床世界自然遺産地域における情報提供及びデータ収集業務	知床の将来の望ましい保全管理のあり方を検討するため、将来の人口等の社会環境、気候変動や自然災害等の自然環境に関する基礎的なデータの収集を行うとともに、知床データセンターの維持管理を行った。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
15	H23	知床世界自然遺産地域科学委員会運営業務	平成23年度知床世界自然遺産地域科学委員会および科学委員会のもとに設置されているエゾシカ･陸上生態系ワーキンググループ、ヒグマ保護管理方針検討会議を運営した	2011年	環境省釧路自然環境事務所
16	H23	知床国立公園海域利用等における利用動向調査業務	学識経験者や地元関係団体の協力を得つつ、知床地域の利用動向等を把握するためのアンケート調査を実施した	2011年	環境省釧路自然環境事務所

表 2-2 収録した報告書資料一覧 2/3

番号	年度	調査･業務名	概要	調査･業務年	発注者
17	H23	知床国立公園適正利用等検討業務	「知床世界自然遺産地域適正利用･エコツーリズム検討会議」および検討会議の有志による「エコツーリズム戦略起草部会」を運営し、その結果をとりまとめた。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
18	H23	日露隣接地域生態系保全調査等業務	これまでの日露隣接地域における生態系保全に係る取組を踏まえて、当該地域の生態系保全に関する調査研究や共同統一データベースの作成など日露隣接地域生態系保全協力プログラムに基づく取組を推進した。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
19	H23	遠音別岳原生自然環境保全地域及び知床国立公園周辺における自然環境基礎調査業務	遠音別岳原生自然環境保全地域及び当該地域周辺を対象として、適切な保全に資することを目的として基礎的な情報収集を行い生態系の現況を把握した	2011年	環境省釧路自然環境事務所
20	H23	知床世界自然遺産地域植物相調査業務	知床半島の植物相の適切な保全管理を検討するため、知床半島の植物リストを補完するとともに、これまで実施されてきた調査を参照し、今後必要と思われる調査計画を立案した。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
21	H23	知床世界自然遺産地域における利用状況調査業務	「知床エコツーリズム戦略」等の検討に不可欠である主要利用拠点における利用者数を把握するとともに、「知床世界遺産ルサフィールドハウス」にて提供すべき先端部の利用状況等を調査した。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
22	H23	知床五湖フィールドハウスレクチャー等運営業務	平成23年度からの知床五湖における自然公園法に基づく利用調整地区制度の導入にともない、利用者の地上遊歩道への立ち入りのために立ち入り申請受付とレクチャーを行ったもの。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
23	H23	羅臼ビジターセンター観測情報展示施設の維持管理等業務	ウトロ沖において水温等の基礎的環境データを継続的に収集し、海洋環境変動の解析を行った。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
24	H23	知床半島沿岸域における海洋観測ブイを用いた海洋観測等に係る業務	羅臼沖において水温等の基礎的環境データを継続的に収集し、海洋環境変動の解析を行った。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
25	H23	平成23年度 知床生態系維持回復事業エゾシカによる昆虫類への影響調査業務	エゾシカ個体数の増加による昆虫相の変化について、現地調査により定量的に把握した。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
26	H23	知床世界自然遺産地域における歩道等保全管理業務	羅臼岳登山道および硫黄山登山道、知床連山縦走路において、必要な補修整備を実施した。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
27	H23	知床生態系維持回復事業エゾシカ捕獲手法（囲いわな）調査業務	「平成22 年度知床生態系維持回復事業エゾシカ捕獲手法検討業務」において設置したルサ川左岸の囲いわなを活用し、エゾシカの捕獲を実施した。また、生態系維持回復事業への活用を目的として、エゾシカの誘引状況や群れ構成等について調査し、囲いわなの効率的な運用方法についても検討した。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
28	H23	知床国立公園ウトロ海域における海鳥調査業務	斜里町における海鳥の海上ラインセンサス、ケイマフリの生息海域の分布や繁殖地等の生息状況調査、ケイマフリの採食･食性調査等を行った。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
29	H23	知床国立公園ウトロ海域における海鳥の保護と持続可能な海域利用検討業務	ウトロ海域のレクリエーション利用の状況･動態を把握するためのアンケート調査、広報用ホームページの作成、ミニ出前講座の開催、専門家を加えた関係者との検討会の開催を行った。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
30	H23	知床生態系維持回復事業エゾシカ食害状況評価に関する植生調査及び植生指標検討調査業務	①知床岬地区植生保護柵内外の植生回復状況調査 ②知床岬地区におけるエゾシカ採食量調査 ③遠音別岳周辺地域におけるエゾシカ広域採食圧調査 ④ルサー相泊地区エゾシカ密度操作実験による効果モニタリング手法検討 エゾシカによる植生への影響と、エゾシカ個体群の動態やエゾシカ密度操作実験等各種対策による植生影響の変化等について考察し、植生指標を設けるべき植生区分及び指標となる種や植生の状態について整理し、植生指標の開発方針の案を作成した。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
31	H23	国立公園等民間活用特定自然環境保全事業（グリーンワーカー）事業 知床国立公園知床五湖･カムイワッカ地区自動車利用動態解析業務	カムイワッカ地区の駐車スペースの手前およびトラフィックカウンター前で、駐車車両のカムイワッカ湯の沢滞在時間、滞在人数などについて調査するとともに、今年度の五湖の利用動態調査を行った。 また、知床五湖駐車場における渋滞･混雑状況をまとめたカレンダーを作成した。	2011年	環境省釧路自然環境事務所
32	H23	知床生態系維持回復事業 エゾシカ捕獲手法検討業務	知床国立公園･知床世界自然遺産地域においてエゾシカ（以下、シカ）の増加による生態系への深刻な影響が見られることに鑑み、シカの個体数管理を行うにあたっての捕獲手法の検討を行った。	2011年	環境省釧路自然環境事務所

表 2-2 収録した報告書資料一覧 3/3

番号	年度	調査･業務名	概要	調査･業務年	発注者
33	H24	（春期）知床国立公園エゾシカ捕獲手法検討業務	知床国立公園および知床世界自然遺産地域においてエゾシカ（以下、シカ）の増加による生態系への深刻な影響が見られることに鑑み、斜里町幌別―岩尾別地区および羅臼町ルサ―相泊地区におけるシカ捕獲手法検討並びに知床岬地区における個体数調整捕獲を行った。	2012年	環境省釧路自然環境事務所
34	H24	知床世界自然遺産地域における登山道管理業務	羅臼岳において、春先の融雪や大雨、登山者の踏み外し等による洗掘や土砂流出が生じ、周囲の植生帯への影響が見られることから、登山道の管理等を実施した。	2012年	環境省釧路自然環境事務所
35	H24	知床世界自然遺産地域における歩道等保全管理業務	羅臼岳の登山道において、春先の融雪と大雨等により洗堀や段差が生じ、歩行に支障をきたしている区間があるとともに、高山植物保護のために設置した立入り防止ロープの損傷や、踏み分けが著しい箇所が一部に見られる等、高山植物等の保護のための早急な対策が必要であることから、羅臼岳登山道の羅臼温泉から羅臼岳山頂までの区間において、必要な補修整備を実施した。	2012年	環境省釧路自然環境事務所
36	H24	知床世界自然遺産地域における希少植生保全対策等業務	知床連山地域の二ッ池には知床半島において重要な高山帯の湿原植生が成立している。二ッ池周辺では湿原域のルートの複線化が進行しており、希少な植生の保全のため早急な対策が求められていることから、二ッ池におけるルートの付替え等の望ましい対策を検討し、希少な植生の保全を推進するとともに、登山道の維持補修を行った。	2012年	環境省釧路自然環境事務所
37	H24	知床国立公園知床五湖植生・歩道状況調査業務	知床五湖園地の利用調整地区制度の効果検証を行うため、地上歩道周辺の植生の状況、および歩道の浸食・拡張状況の把握を行った。	2012年	環境省釧路自然環境事務所
38	H24	（秋期）知床国立公園エゾシカ捕獲手法検討業務	知床国立公園及び知床世界自然遺産地域においてエゾシカ（以下、シカ）の増加による生態系への深刻な影響が見られることから、斜里町幌別-岩尾別地区におけるシカ捕獲手法検討を行った。	2012年	環境省釧路自然環境事務所

図 2-3 報告書資料掲載ページ(平成 23 年度報告書)

図 2-4　年次報告書資料掲載ページ

（３）啓発資料・ホームページの更新追加

追加更新した啓発資料資料は以下のとおり。表 2-4 には収録した啓発発表資料の一覧を示した。資料を掲載したページを図 2-5 に示した。また関連ホームページを掲載するページを新設した（図 2-6）。

表 2-4　収録した報道発表資料一覧

番号	分類	分類	掲載およびリンク資料
1	啓発資料	ニュースレター（知床科学委員会新聞）	知床世界遺産地域科学委員会 No.3
2			エゾシカ・陸域生態系 WG No.3
3			エゾシカ・陸域生態系 WG No.4
4			河川工作物 AP No.3
5			河川工作物 AP No.4
6	ホームページ	関連ホームページ	「知ってる？」ケイマフリ

図 2-5　追加掲載した啓発資料掲載ページ

図 2-6 報道資料・啓発資料ホームページ(ページおよびメニューを新設)

2-2 メーリングリストの管理

7 つのメーリングリスト（科学委員会、エゾシカ WG、河川工作物 AP、海域 WG、ヒグマ検討会議、知床アドバイザーネットワーク、適正利用・エコツーリズム WG）について以下の管理を行った。

（1）各委員会のメンバー更新

平成 25 年 3 月現在で、以下のメーリングリストのメンバー加入がある。メンバー追加および削除は環境省からの連絡・指示でメーリングリスト管理者の EnVision が適時行った。表 2-5 には各委員会の加入数と更新内容の一覧を示した。メンバーの追加削除およびそれに付随するメーリングリストの管理を 11 回(平成 25 年 3 月 25 日時点)行った。

表 2-5 各委員会・WG の委員数と ML 加入者数

委員会	委員数	ML加入者数
科学委員会	13名	104名
エゾシカWG	10名	82名
海域WG	11名	73名
河川工作物AP	5名	84名
ヒグマ検討会議	7名	78名
知床アドバイザーネットワーク	69名	91名
適正利用・エコツーリズムWG	7名	70名

※知床アドバイザーネットワークの委員数は参加している専門家の数を示す

本報告書の作成には、以下の仕様の用紙を使用した。

・古紙パルプ配合率 70%

・坪量／64g/㎡(四六判換算 55kg)以上

・　白色度／約 70%

・　紙厚／約 90μm

平成 24 年度知床世界自然遺産地域における情報提供及び資料収集業務

平成 25 年 3 月

計画機関　　環境省釧路自然環境事務所

作成機関　　特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所